

平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 サカタインクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4633 URL <http://www.inx.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 耕太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 菅原 大輔 (TEL) 06-6447-5823
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	116,323	3.2	6,607	△14.0	8,555	△6.9	6,331	3.1
28年12月期第3四半期	112,699	—	7,683	—	9,187	—	6,142	—

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 6,699百万円(—%) 28年12月期第3四半期 △1,182百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	107.64	—
28年12月期第3四半期	101.51	—

当社は、平成27年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、平成27年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	140,254	75,519	51.7	1,242.06
28年12月期	138,012	74,313	51.7	1,179.38

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 72,536百万円 28年12月期 71,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	13.00	—	15.00	28.00
29年12月期	—	14.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	16.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年12月期期末配当金の内訳 普通配当 13円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,500	4.8	9,600	△5.1	12,000	1.1	8,700	11.0	148.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年12月期3Q	62,601,161株	28年12月期	62,601,161株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	4,201,432株	28年12月期	2,093,210株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年12月期3Q	58,821,432株	28年12月期3Q	60,508,029株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
 なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、平成29年2月20日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項を決議し、平成29年2月21日付で当社普通株式2,108,000株を取得いたしました。これに伴い、平成29年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、当該自己株式取得による影響を考慮して算定しております。
 なお、自己株式取得の詳細につきましては、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)」をご覧ください。
3. 四半期決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	11
主要な設備の計画	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国は着実に景気の回復が続き、欧州も緩やかな景気の回復が続きました。アジアにおいては、全体的に持ち直しの動きが続きました。日本経済は、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調を維持しているものの、海外景気の下振れが懸念される状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、アジアを中心とした各拠点での拡販に注力するとともに、環境に配慮した高機能・高品質製品やコスト競争力に優れる地域密着型製品の開発、TPM活動の推進・展開による生産性向上とコスト削減などに取り組みました。一方、機能性材料事業では、インクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液などの開発・拡販に取り組みました。

売上高は、パッケージ関連の印刷インキの拡販が進み、機能性材料も概ね好調であったことなどから、1,163億2千3百万円（前年同期比3.2%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加が寄与したものの、主に海外において、拡販に向けたコスト、原材料費及び貸倒費用など費用負担が嵩んだことなどから、営業利益は66億7百万円（前年同期比14.0%減少）となりました。経常利益は為替差損益の改善などにより、85億5千5百万円（前年同期比6.9%減少）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益を計上したことなどから、63億3千1百万円（前年同期比3.1%増加）となりました。

(参考) USドルの期中平均為替レート

	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結累計期間
平成29年12月期	113.64 円	111.09 円	111.03円	111.92円
平成28年12月期	115.06 円	107.87 円	102.91円	108.61円

(注) 第3四半期連結累計期間の期中平均為替レートは、1月～9月の単純平均レートを記載しております。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(単位：百万円)

	売上高					営業利益		
	前期	当期	増減額	増減率	(※)実質	前期	当期	増減額
印刷インキ・ 機材 (日本)	40,816	40,638	△178	△0.4%	△0.4%	1,764	1,727	△36
印刷インキ (アジア)	21,067	22,260	1,192	5.7%	2.8%	2,282	1,789	△493
印刷インキ (北米)	31,509	32,490	981	3.1%	0.1%	1,937	1,326	△610
印刷インキ (欧州)	6,009	6,578	569	9.5%	10.7%	211	144	△67
機能性材料	7,454	8,270	816	10.9%	9.3%	648	877	228
報告セグメント計	106,857	110,238	3,381	3.2%	1.6%	6,844	5,864	△979
その他	11,517	11,621	104	0.9%	0.9%	386	267	△118
調整額	△5,675	△5,537	138	—	—	453	475	21
合計	112,699	116,323	3,624	3.2%	1.8%	7,683	6,607	△1,076

(※) 実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

①印刷インキ・機材（日本）

パッケージ関連では、飲料、食品関係を中心とした堅調な需要に支えられ、グラビアインキを中心に拡販が進みました。印刷情報関連では、広告需要の低迷などによる需要減の影響を受けて、新聞インキ、オフセットインキともに、前年同期を下回りました。以上のことから、印刷インキ全体では前年同期を上回りました。機材につきましては、印刷製版関連機器の販売は増加したものの、印刷製版用材料は低調に推移しました。これらの結果、売上高は406億3千8百万円（前年同期比0.4%減少）となりました。

利益面では、印刷情報関連の印刷インキ及び印刷製版用材料の販売が低調であったことなどから、営業利益は17億2千7百万円（前年同期比2.1%減少）となりました。

②印刷インキ（アジア）

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、ベトナムが昨年からの好調を持続し、インドネシアも比較的好調であったものの、インドは新たな物品・サービス税（G S T）の導入に伴う買い控えなどの影響を受けたことなどから、全体としては伸び悩みました。印刷情報関連では、新聞インキの拡販が進みました。売上高は、円安による為替換算の影響を受けた結果、222億6千万円（前年同期比5.7%増加）となりました。

利益面では、販売数量が特に第2四半期において伸び悩んだことに加え、原材料費をはじめとして人件費などのコストが増加したことなどから、営業利益は17億8千9百万円（前年同期比21.6%減少）となりました。

③印刷インキ（北米）

主力のパッケージ関連では、高機能インキの拡販に取り組み、フレキソインキ、グラビアインキ及びメタルインキが第2四半期までは概ね堅調に推移したものの、第3四半期は拡販の遅れにより伸び悩みました。印刷情報関連であるオフセットインキは、UVインキなどが堅調に推移したものの、市場縮小の影響を受けて、全体としては低調でありました。売上高は、円安による為替換算の影響を受けた結果、324億9千万円（前年同期比3.1%増加）となりました。

利益面では、販売数量が前年同期並みとなったことに加え、生産体制の強化及び顧客サービスの充実に伴う人件費などのコストや貸倒費用が嵩んだことなどから、営業利益は13億2千6百万円（前年同期比31.5%減少）となりました。

④印刷インキ（欧州）

パッケージ関連を中心とした生産・販売体制の再構築に取り組み、全体として拡販が進みました。売上高は、販売数量が増加したことなどから、65億7千8百万円（前年同期比9.5%増加）となりました。

利益面では、販売数量の増加が寄与したものの、原材料費などのコストが増加し、急激なポンド安に伴う一時的要因により利益が拡大した前年同期からは減益となり、営業利益は1億4千4百万円（前年同期比31.8%減少）となりました。

⑤機能性材料

デジタル印刷分野では、インクジェットインキは拡販が順調に進んだことから、前年同期を上回りました。トナーは海外向けが振るわず、前年同期を下回りました。画像表示材料であるカラーフィルター用顔料分散液は販売が伸長し、前年同期を上回りました。これらの結果、売上高は82億7千万円（前年同期比10.9%増加）となりました。

利益面では、北米のインクジェットインキの生産体制の再編に伴いコストが増加したものの、全般的な販売数量の増加が寄与したことなどから、営業利益は8億7千7百万円（前年同期比35.2%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したものの、売上債権、たな卸資産及び有形固定資産が増加したことなどから、前連結会計年度末比22億4千2百万円(1.6%)増加の1,402億5千4百万円となりました。

負債は、借入金が増加したものの、仕入債務や流動負債のその他に計上されている設備未払金が増加したことなどから、前連結会計年度末比10億3千6百万円(1.6%)増加の647億3千4百万円となりました。

純資産は、自己株式を取得したものの、利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末比12億5百万円(1.6%)増加の755億1千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月10日に公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,297	7,403
受取手形及び売掛金	43,539	44,182
商品及び製品	9,407	10,188
仕掛品	1,016	1,133
原材料及び貯蔵品	6,900	7,504
その他	2,045	2,810
貸倒引当金	△490	△791
流動資産合計	71,716	72,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,792	16,772
機械装置及び運搬具（純額）	9,556	9,408
土地	8,731	8,780
リース資産（純額）	758	629
建設仮勘定	569	882
その他（純額）	444	439
有形固定資産合計	35,853	36,913
無形固定資産	1,050	916
投資その他の資産		
投資有価証券	27,123	27,810
その他	2,761	2,675
貸倒引当金	△492	△492
投資その他の資産合計	29,392	29,993
固定資産合計	66,295	67,823
資産合計	138,012	140,254
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,396	28,319
短期借入金	3,583	4,342
1年内返済予定の長期借入金	6,203	4,652
未払費用	3,655	3,229
未払法人税等	895	881
賞与引当金	631	1,174
その他	2,939	3,901
流動負債合計	45,304	46,503
固定負債		
長期借入金	6,572	6,042
退職給付に係る負債	5,261	5,107
資産除去債務	71	71
その他	6,489	7,011
固定負債合計	18,393	18,231
負債合計	63,698	64,734

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,672	5,672
利益剰余金	59,053	63,586
自己株式	△643	△4,046
株主資本合計	71,555	72,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,027	4,431
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△2,615	△3,086
退職給付に係る調整累計額	△1,604	△1,496
その他の包括利益累計額合計	△193	△149
非支配株主持分	2,952	2,983
純資産合計	74,313	75,519
負債純資産合計	138,012	140,254

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	112,699	116,323
売上原価	84,931	88,693
売上総利益	27,767	27,629
販売費及び一般管理費	20,083	21,022
営業利益	7,683	6,607
営業外収益		
受取利息	36	51
受取配当金	180	164
持分法による投資利益	1,329	1,321
その他	335	682
営業外収益合計	1,881	2,219
営業外費用		
支払利息	200	190
為替差損	104	—
その他	72	81
営業外費用合計	378	271
経常利益	9,187	8,555
特別利益		
有形固定資産売却益	50	—
投資有価証券売却益	2	1,124
特別利益合計	53	1,124
特別損失		
災害による損失	—	174
有形固定資産除却損	77	70
工場移転費用	—	71
特別損失合計	77	316
税金等調整前四半期純利益	9,163	9,362
法人税、住民税及び事業税	2,569	2,624
法人税等調整額	△53	21
法人税等合計	2,516	2,646
四半期純利益	6,646	6,716
非支配株主に帰属する四半期純利益	504	384
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,142	6,331

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	6,646	6,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△611	417
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△5,482	△576
退職給付に係る調整額	79	100
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,814	39
その他の包括利益合計	△7,828	△17
四半期包括利益	△1,182	6,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,228	6,375
非支配株主に係る四半期包括利益	46	323

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、平成29年2月20日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、平成29年2月21日付で当社普通株式2,108,000株を取得いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,402百万円増加し、単元未満株式の買取りによる取得を含め、当第3四半期連結会計期間末の自己株式は4,046百万円となっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	40,799	21,032	30,388	5,952	7,381	105,554	7,144	112,699	—	112,699
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	34	1,120	57	72	1,303	4,372	5,675	△5,675	—
計	40,816	21,067	31,509	6,009	7,454	106,857	11,517	118,374	△5,675	112,699
セグメント利益	1,764	2,282	1,937	211	648	6,844	386	7,230	453	7,683

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額453百万円には、セグメント間取引消去593百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△140百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役員提供費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	印刷 インキ ・機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (北米)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	40,617	22,221	31,511	6,550	8,196	109,097	7,226	116,323	—	116,323
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	38	979	28	73	1,141	4,395	5,537	△5,537	—
計	40,638	22,260	32,490	6,578	8,270	110,238	11,621	121,860	△5,537	116,323
セグメント利益	1,727	1,789	1,326	144	877	5,864	267	6,132	475	6,607

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額475百万円には、セグメント間取引消去629百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△153百万円が含まれております。全社費用は、主に関係会社に対する役員提供費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

3. その他

主要な設備の計画

平成29年9月30日現在

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手及び完了予定	
				総額	既支払額		着手	完了
提出会社	滋賀工場 (滋賀県米原市)	印刷インキ・機材 (日本)	製造設備	百万円 1,491	百万円 135	自己資金	平成29年 3月	平成30年 1月
INX International Ink Co.	ウエストシカゴ (ILLINOIS, U. S. A.)	印刷インキ (北米) 及び機能性材料	研究設備	千US\$ 7,000	千US\$ 199	自己資金	平成29年 10月	平成30年 7月

- (注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。
2. 上記の滋賀工場における完成後の生産能力については合理的な算出が困難なため、記載を省略しております。
3. 上記の滋賀工場における計画は、一部見直しに伴い、投資予定額を1,421百万円から1,491百万円に変更しております。
4. 上記のINX International Ink Co.における計画は、研究設備のため生産能力の増加はありません。
5. 上記のINX International Ink Co.における計画は、一部見直しに伴い、着手予定年月を平成29年8月から平成29年10月に、完了予定年月を平成30年5月から平成30年7月にそれぞれ変更しております。